

第5章 まちづくりの方向性

5-1 布袋駅東地区の将来像

布袋駅東地区の周辺では、鉄道高架事業や江南布袋南部土地区画整理事業のほか、関連する都市基盤施設の整備が進められており、こうした特性を活かして拠点性や生活利便性を高めることが求められています。

また、地区内では住宅地としての土地利用が進んでいますが、農地や低未利用地も分布しているため、今後も宅地開発等による新たな住民の流入が想定されます。ただし、住宅地の形成にあたっては、無秩序な土地利用を防ぎ、良好な住環境を形成することが求められるほか、従前からの居住者、事業者等への配慮も求められます。

さらに、高齢者や子育て世代への支援など地域・行政が連携した支え合いの実現が求められています。

こうした状況を踏まえ、布袋駅東地区が、布袋駅を中心とした本市の南玄関にふさわしい魅力ある拠点となること、地域に暮らす住民の生活を支え、誰もが“暮らしやすさ”を実感できるまちとなることをめざします。

5-2 布袋駅東地区の基本目標

布袋駅東地区の将来像を実現するため、基本目標を以下のとおり設定します。

(1) にぎわい・交流のあるまちづくり 【広域の視点：市全域及び市外から見た布袋駅東地区の目標】

- 布袋駅前に位置する利便性やシンボル性を活かすとともに、既存資源等の活用や新たな魅力づくりによって、南玄関としてのにぎわいや来街者等との交流を創出します。
- 市外への人口流出を抑制し、地域活性化を図るとともに、持続可能なまちづくりを推進するため、布袋駅東地区が持つポテンシャルを活かすことによって、子育て世代をはじめとした新たな住民の居住を創出します。

(2) 地域の生活を支えるまちづくり 【中域の視点：布袋地区から見た布袋駅東地区の目標】

- 生活に不可欠な施設や利便性の向上に資する施設の立地を図るとともに、高齢者や子育て世代への支援機能などの公的サービスを提供する施設の配置によって、布袋地区に暮らす住民の生活を支えるまちづくりを進めます。

(3) 暮らしやすさを提供するまちづくり 【狭域の視点：布袋駅東地区内の目標】

- 道路や公園などの都市基盤施設を整え、従前からの居住者や事業者に配慮しながら適切な土地利用の誘導を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることによって、安全・安心で住みよい環境づくりを進めます。

にぎわい・交流のある
まちづくり

地域の生活を支える
まちづくり

暮らしやすさを
提供する
まちづくり

図 基本目標の体系イメージ